



▲協定締結式の鈴木市長、川井田理事長

**空き家の適正管理推進に関する協定
安全、安心なまちづくりへ**

2月5日、本市は空き家の適正な管理を進めるため、白河・西郷広域シルバー人材センター（川井田元理事長）と『空家等の適正な管理の推進に関する協定』を締結しました。同センターでは、所有者との契約により、建物の破損状況や郵便受け内の状況など、家屋・敷地内外の現状をチェックシートで確認して、写真付きの報告書を郵送します（税込み1回2千円）。また、依頼に応じて庭木のせん定や草刈りなどの維持管理も請け負います。お問い合わせは同センター（☎②9128）まで。



▲2本のなわを交互に跳ぶダブルダッチ

**なわとび×ダブルダッチチャレンジ
なわとびで笑顔あふれる**

1月27日、東風の台運動公園体育館（東釜子）で『なわとび×ダブルダッチチャレンジコンテスト2018 in しらかわ』が開催され、小学1年生から40歳を超える大人まで、約150人が出場しました。個人の部（単なわ・ダブルダッチ）と、団体の部（長なわ・ダブルダッチ）で競われ、参加者は練習の成果を発揮しようと懸命に競技に取り組んでいました。長なわに挑んだ小学5年生は「本番が近づくにつれ、チームワークが良くなってきた」と笑顔で話しました。



▲語り手の皆さん。同ボランティアの活動は17年続いています

**白二小スペシャル読み聞かせ
凝った演出で児童を魅了**

2月14日、白二小体育館で、同校読み聞かせボランティア（金内里絵代表）による『白二小スペシャル読み聞かせ』が行われ、節分にちなんだ二つの紙芝居が語られました。大型スクリーンには紙芝居の画像が映され、登場人物にふんじた複数の語り手が児童の前後から語るなど、物語の世界に引き込まれるような演出があり、参加した全児童540人は、じつくりと聞き入っていました。同ボランティアは、年に一度のスペシャル読み聞かせのほか、毎月学年ごとに読み聞かせを行っています。



▲市長から受賞記念の白河だるまを受け取る梓澤さん

**第23回中山義秀文学賞贈呈式
梓澤要さんをたたえる**

2月4日、新白信ビル（立石）で『第23回中山義秀文学賞贈呈式・受賞記念講演会』が開催されました。贈呈式では、受賞作「荒仏師運慶」の作者、梓澤さんに、市長から賞状と副賞の賞金100万円、本市産コシヒカリ1俵のほか、受賞を記念した白河だるまが手渡されました。贈呈式後の記念講演会では「天才仏師運慶を語る」と題し、梓澤さんが運慶の生きた時代背景や、運慶に対する自身の思いなどを語りました。講演会終了後は、サイン会が開かれ、来場者と交流を深めました。



▲検定試験を受ける受験者たち

**第2回しらかわ検定
225人が白河の歴史に挑む**

2月17日、鹿島ガーデンヴィラ（北中川原）で、本市のご当地検定『第2回しらかわ検定』が開催され、小学生から80代まで225人が受験しました。問題は四者択一方式で、腕試しの3級には白河歴史の手引き「れきしら」入門編から、昨年の3級合格者を対象とした2級の検定試験には、同上級編から出題されました。張り詰めた空気の中、参加者は真剣な面持ちで試験に挑んでいました。来年は1級の試験も行われる予定です。



▲リポーターの経験から学んだことを語る阿部さん

**消費者教育講演会
リポーター阿部祐二さんがアドバイス**

2月4日、コミネス（会津町）で、テレビリポーターなどで活躍する阿部祐二さんを招き『消費者教育講演会』が開催されました。講演では、阿部さんがリポーターになったきっかけや体験談のほか、消費生活アドバイザーの資格を持つ福島中央テレビアナウンサーの須賀宣之さんと、最近の消費生活に関するトラブルや、賢い消費者になるためのアドバイスを語りました。約300人の来場者は、二人の軽妙なトークに熱心に耳を傾けていました。